

議事録：令和4年度第1回石狩市文化財保護審議会

- 日時：令和4年7月4日（月）10：30～11：20
11：30～17：00（巡見）

- 会場：石狩市役所 庁議室

■出席者

石狩市文化財保護審議会委員

- ・三島照子
- ・百瀬 響
- ・鈴木明彦
- ・高瀬克範
- ・加藤和子
- ・若林真紀子
- ・久保田陽子

事務局

- ・佐々木隆哉（教育長）
- ・蛭谷学俊（生涯学習部長・文化財課長）
- ・志賀健司（文化財課主査・学芸員）
- ・作田洋二（文化財課主査）
- ・荒山千恵（文化財課主任・学芸員）
- ・坂本恵衣（文化財課主事・学芸員）

■欠席者(委員)

- ・三浦泰之

■傍聴者

- ・1名

1. 委嘱状交付
2. 教育長挨拶
3. 委員紹介
4. 会長、副会長選任
5. 会長挨拶
6. 巡見の案内

以下、議事録

蛭谷：みなさまおはようございます。本日まで出席いただける委員の皆様がお揃いになりましたので、令和4年度第1回文化財保護審議会を開催いたします。今回は新たな任期を迎えましてはじめての会議となりますので、ご出席の皆様には座席に委嘱状を配布させていただきました。本日三浦委員におかれましては、欠席のご連絡をいただいておりますことをご報告申し上げます。それでは、会議開催にあたりまして、佐々木教育長よりご挨拶申し上げます。

佐々木：おはようございます。教育長の佐々木と申します。皆様にはお忙しいなか文化財保護審議会の委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。また、日ごろから本市の文化財行政に様々な形でご協力いただいておりますこと、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。

この審議会の委員の任期が2年ということで、2年前私はもう教育長になっておりましたので、どのような挨拶をしたのかと全然思い出せず、これは、と思ったところよく考えますと2年前は書面開催でした。2年前というと丁度新型コロナウイルスが流行りまして、会議で皆が顔を合わせるなどもつてのほかということで、様々な不安があったなということ昨日のように思い出します。

ただ、マイナスの話ばかりだけではなく、例えばコロナでステージやイベントができなくなり演劇ですとか芸能というものの継承が難しくなっているという状況を受けまして、今年の4月に文化財保護法が変わり、無形文化財の登録制度が作られました。また、学校の一斉臨時休校を受けまして、北海道博物館が全国に呼び掛けてこれまで博物館で体験できた実験や観察、工作みたいなものをそのうちの家でできるものをネットで公開するおうちミュージアムといった試みが行われ、それが全国に波及し、言ってみれば、これまで博物館というハコの中に閉じていたコンテンツを開放したといった評価もできるのではないかと考えております。

この2年間でコロナに対する知見もたまってまいりましたので、コロナとの折り合いをつけながら少しずつ日常を取り戻していくことになると思っております。外では近くで話さないかぎりマスクはいらなくなるとなるとまいりましたし、屋内に

ついても博物館や図書館などは感染リスクが少ない施設であるとはっきりしてきました。我々としてもこれからが巻き返しの時期だと考えております。

この文化財保護審議会は文化財の保全と活用とある意味専門性の高い分野での議論をお願いするということで、どうしても委員の固定化という傾向が以前は見られましたが、今回は3名の新しい方を迎えられたということで、審議会の議論に新しい風を吹き込んでいただけることを期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

この後視察ということで、その際にも説明があらうかとは思いますが、本市の文化財、博物館行政には色々と課題もございます。厳しい面もあるかと思いますが、立ち止まらずに1歩でも2歩でも前に進んでいくという風にしていきたいと思います。ぜひ、みなさんのお力添えをお願いしたいなと思います。これから2年間ご負担をおかけすることもあるかと思いますが、我々のこのような思いをご理解いただいてなにとぞよろしくお願いしたいと思います。

簡単ではございますが、最初の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

蛭 谷：教育長は公務がございまして、ここで退席させていただきたいと思います。ご了承願います。

佐々木：ではここで失礼いたします。よろしくおねがいたします。

蛭 谷：それでは、次第に基づいてすすめさせていただきますが、その前に本日の資料について説明させていただきます。皆様のお手元にはこの審議会の式次第A4サイズが1枚、審議会の委員名簿、本日の巡見行程、ホチキスでとめられた巡見の内容、文化財の説明や石狩ファイルをつけさせていただいたもの、石狩小学校の利活用に関する意見書、A4カラーのエスチュアリ61号、パンフレット関係はいしかり砂丘の風資料館、はまます郷土資料館、旧石狩小学校、そして観光関係の石狩宝自慢とピンクのカラーマップがございまして。

以上の資料で届いていないものがございますでしょうか。ないようですので、さっそく、式次第に基づき進めさせていただきますと思います。

先ほど教育長からもありましたが、今回改めて委員の改選ということで、新しく委員になられた方もいらっしゃいますので、あらためて委員の紹介ということで、自己紹介の形をお願いしたいと思います。

最初に三島委員から時計回りの順でそれぞれ自己紹介をお願いいたします。

三 島：三島照子と申します。石狩市郷土研究会副会長をしております。よろしくお願いいたします。

若 林：若林真紀子と申します。4年目になりますが、頑張ります。よろしくお願いいたします。

高 瀬：北海道大学大学院文学研究部の高瀬と申します。考古学が専門で、東北・北海道か

らシベリアの考古学を研究しておりますが、ロシアは行けなくなってしまいましたので、しばらく日本の方に集中したいと思っております。石狩は研究面でも教育面でも結構利用させていただいておりますので、ユーザーとしての視点で貢献できればと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

加 藤：加藤和子です。いしかり砂丘の風資料館ボランティアで活動させていただいておりますが、このコロナ禍で中止となっております。早く皆の顔が見られるようになればいいなと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

久保田：久保田と申します。よろしくお願いいたします。

鈴 木：北海道教育大学札幌校の鈴木明彦と申します。専門は地質学と古生物学で、学生たちとは漂着物を環境教育の視点から見ておりますので、いしかり砂丘の風資料館や教育委員会の方々にはお世話になっております。残念ながら、なかなか学生を連れていく機会が少なくなりまして、今年ぐらいからちょこちょここのあたりを学生の皆さんと、卒論のテーマで、またお世話になるかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

百 瀬：北海道教育大学札幌校の百瀬響と申します。専門は文化人類学で、高瀬先生と少し重なるのですが、北海道・国内の民俗学、ロシア地域をやっておりましたが、2019年にサハリンの郷土博物館で調査をしたきりもういけなくなってしまいました。石狩市では学生もフィールドワーク等でお世話になっておりますので、今後もよろしくお願いいたします。

蛭 谷：ありがとうございます。それでは事務局職員を紹介させていただきたいと思っております。私、この春から生涯学習部長と文化財課長を兼務しております、蛭谷と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

志 賀：主査で学芸員をしております、志賀と申します。専門は地質ですが自然史全般担当しております。よろしくお願いいたします。

作 田：今年から配属になりました作田と申します。よろしくお願いいたします。

荒 山：学芸員の荒山と申します。専門は考古学です、よろしくお願いいたします。

坂 本：学芸員の坂本と申します。教育学と文化人類学を専門としております、よろしくお願いいたします。

蛭 谷：審議会委員の皆様のご協力をいただきながら、石狩市の文化財保護、文化財の利活用が進むよう努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

では、続きまして式次第の4番目になりますが、会長・副会長の選任に入ります。石狩市文化財保護条例施行規則に基づきまして、審議会の会長及び副会長の選任をしたいと思っておりますけれども、皆様から特にご意見がなければ事務局一任という形で進めさせていただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

(審議委員より同意)

では事務局案といたしまして、会長に三島様、副会長に百瀬様をお願いしたいと

思います。よろしくお願いいたします。

それでは只今選任いただきました、三島会長よりご挨拶いただきたいと思ます。よろしくお願いいたします。

三 島：只今会長に選任いただきました、三島と申します。この度は審議委員の任期更新にあたり、私も含めまして新しい方が 3 名委員に就任しております。皆様のご協力をいただきながら審議会の運営が円滑に進む様つとめてまいりますと共に、先ほど教育長がおっしゃっていた色々な課題を一步でも二歩でも前に進めていきたいという言葉聞いて、実際そうだなと思いつつ、その言葉を借りて挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

今日はこれから文化財を回って歩くのですけれど、とても暑いのでみなさん気を付けていきたいとおもいます。よろしくお願いいたします。

蛭 谷：三島会長ありがとうございます。

それでは式次第 6 番目、巡見の案内ということで、本日この後市内の文化財について巡見をいたします。その概要について志賀主査よりご説明いたします。

志 賀：(資料 3 に基づき巡見の行程を説明。)

蛭 谷：それでは市役所正面玄関から出発いたしますので、お忘れ物のないようお集まりください。よろしくお願いいたします。

(庁議室での議題はここで終了し、石狩市内の巡見に移行)

以上

議事録を確認しました。

令和 4 年 7 月 29 日
石狩市文化財保護審議会

会長 三島 照 